

＜第3回兵庫県海岸基本計画変更検討委員会 議事要旨＞

日時：令和7年11月25日（火）10：00～11：00

場所：ラッセホール5Fハイビスカス

出席者：委員）森委員（委員長）・内山委員・柴田委員・平山委員・田沼委員

【概要】

播磨沿岸および淡路沿岸の気候変動の影響を踏まえた海岸保全基本計画の変更について、技術検討部会における審議概要および海岸保全基本計画の変更案を説明し、各委員から助言を得た。

【議事内容】

●気候変動の影響を踏まえた海岸保全基本計画の変更について

技術検討部会における審議概要および海岸保全基本計画の変更案について説明し、各委員から助言を得た。

今後、委員からの意見を踏まえ、海岸保全基本計画の変更を進める。

【主な意見】

【事務局】本日ご欠席の青木委員には事前に説明を行い、内容についてご了解いただいていることをご報告する。

●台風期朔望平均満潮位の現行計画値について

【内山委員】台風期朔望平均満潮位の現行計画値が記載されていない点について再確認したい。

【事務局】播磨沿岸では現行計画において明石地区のみ台風期朔望平均満潮位が設定されていたものの、播磨沿岸の他の地区および淡路沿岸は既往最高潮位で計画されていたためである。

●生物の生息環境創出のための施策に関する記載について

【内山委員】淡路沿岸は「海域生態系の保全・回復」の項目が「生物の生息環境創出のための施策」に変更されているが、播磨沿岸は「海域生態系の保全・回復」を残したまま「生物の生息環境創出のための施策」が追記されている。

【事務局】現行計画の記載が若干異なっているため、重複する内容との関係等から違いが生じているもののどちらの計画にも大阪湾で追記したものと同様の内容を追記している。

●将来の台風に関する文言について

【柴田委員】将来の台風に関して「強大化」ではなく「強力化」との文言となっている点について確認したい。

【森委員長】台風が大きくなるかは科学的に明確でないとされており、強力化との表現が適切かと思われる。

【平山委員】計画書の本文では「強大化」が用いられているため、文言の整合について検討すること。

●**気候変動を踏まえた対策に関する文言について**

【柴田委員】概要説明資料としては「多段的な対策」との記載のままでも構わないものの、計画本文の変更案にあるように「段階的かつ総合的な対策」の方がわかりやすいと思われる。

【事務局】確認して整合を図る。

●**播磨・淡路沿岸における現地状況について**

【田沼委員】海水温の上昇、台風の強力化により、現場では高潮増大の影響で被害が発生している。また、潮流の変化により砂が増減するところもあるため、現地の状況を把握することが重要である。

【事務局】今後、モニタリングを重視するとともに、現場のご意見も確認しながら整備に反映していきたい。

●**モニタリング関連の記載について**

【平山委員】今後の施設整備を進める上でモニタリングが重要となるが、この実施方法等について計画に反映されるのか。

【事務局】モニタリングについては、詳細を詰めて対応する予定であり、計画とは別に方法等の対応を検討していく。

【森委員長】モニタリングは長期的に実施するものであるため、海岸保全基本計画の情報とあわせて確認出来るように記載・掲載すると良い。

●**施設整備の方針に関する記載について**

【森委員長】「施設整備の方針について」のハード対策の説明図では「段階的な嵩上げ」とだけ記載されている。これまでの議論を踏まえれば、「嵩上げ等のハード対策」などのように、少し広い意味を持たせる記載の方が良いのではないか。

【事務局】資料を修正する。

●**資料の修正・今後の対応について**

【森委員長】本日、急遽欠席された諏訪委員には、事務局から別途意見を伺い、委員に共有すること。

【事務局】承知した。委員会の意見と合わせて資料の修正を検討する。